

## 仙台第一高等学校通信制課程の概要と沿革

### I 学校の概要

宮城県仙台第一高等学校（全日制課程）に昭和23年に併置され、210名の入学生を受け入れて以来、本校は「自重以て己を律し献身以て公に奉ず」を校訓として今年で58年目を迎えている。この間、昭和32年3月には3名が卒業証書を手にし、昭和40～50年代に40～50人の卒業生を、平成3年には三桁の卒業生を、三修制が完成した平成17年には241名の卒業生を送り出し、卒業生総計は3710名となった。

発足以来、文部省（当時）を初め県当局からの視察を度々受け入れ、教育改革に協力し、通信教育部から通信制と法改正を受け、また日本放送協会学園と連携して歩んだ歴史の中には、定通体育大会・定通陸上大会・生徒生活体験発表会（全国、東北・北海道地区、県）等でたびたび優勝・上位入賞を果たすなど輝かしい実績をあげている。

### II 教育目標

#### 1 長期目標

社会の人々と支え合いながら主体的に生きる力を育成し、潤いのある豊かな人間性を持ち、自信と誇りに充ちた健全で実行力のある、国家および社会の有為な形成者の育成を目指す。

学校経営方針

- ・ 校歌・校訓：『自重・献身』、標語：自発能動 を三位一体として人格形成を図る。
- ・ 教育環境の改善を図り、通信制課程の独立に向けて諸課題・具体策を検討する。
- ・ 生徒一人ひとりを大切に指導する。

#### 2 本年度の重点目標（短期的目標）

- ① 研究開発学校として低学力等への対策を前年度に継続して、より具体的に研究する。
- ② 平成18年度全通研宮城大会に向けて、詳細を決定する。
- ③ 南部三県生徒研修会を充実したものにする。
- ④ 今年度から面接指導を年間24回（日曜日・月曜日の合計48回）実施するに当たり、学習の進捗を見直しつつ報告課題を作成し、単位修得率65%を目ざして意識して取り組む。また、報告課題について、生徒の学力実態に合わせた到達目標を設定し、段階に応じた課題を作成する。さらに、丁寧な添削指導を心がけ、一層充実する。
- ⑤ 「総合的な学習の時間」の実施にあたり、情報を十分に共有しつつ、よりよい内容を工夫する。
- ⑥ 生活指導・進路指導の系統的・体系的指導について、スクールカウンセラーの活用を含めてさらに工夫を図る。
- ⑦ 学校に関する諸評価に関わる調査項目の整合性を図る。
- ⑧ 保護者会を年度内に設立する。

### III 沿革

昭和22年	2月	1日	文部省認可により通信教育部設置（生徒定員200名）
	24年	5月24日	郵送料通信教育扱いとなる。
	25年	2月25日	東北少年院出張授業
	26年	8月4日	NHK仙台中央放送局から通信教育ラジオ放送開始
	27年	6月1日	NHK通信教育ラジオ放送「宮城県通信教育の時間」として独立。
	28年	4月1日	定員300名
		30日	NHK東京放送局「高等学校講座」を開講。
	29年	11月21日	委託試験開始
	30年	4月1日	通信教育のみによる高卒資格の制度化なる。
	31年	2月1日	定員500名

	12月18日	面接指導への出席が義務化さる。
33年	8月23～24日	第1回東北南部三県通信制高等学校生徒研修会
35年	1月26日	文部省中等課派遣視察団来校
36年	4月1日	NHK学校放送研究委嘱校 宮城県高等学校通信教育後援会発足
	10月29日	通信教育部を通信制と法改正
38年	4月21日	NHK学園高校開講
42年	4月16日	一高・N学合同入学式
52年	5月22日	通信制専用校舎落成式
	9月4日	第1回通教祭
平成4年	4月1日	貞山高校併修生打合せ
	12月28日	新校舎へ移転